

に集 百科

集まることで見えるもの

そこかしこに
あるカタチ

見慣れたこの像あの像
さて、どこにあったっけ？
皆さんで探してみよう！



日常の映像に
溶け込む
まちのギャラリー

通り道や行った先々で「あの、ほら、あれ」と、名は知らずとも知っている像や塔、オブジェやモニュメントな

ど、公共空間に設けられた「パブリックアート」がある。これらは土地の美観や観光のシンボルでもあるが、地元民にとっては共有する風景の一片で、ある人には大切な思い出の場所であり、ある人には毎日の待ち合わせ

せ場所だったりする。あらためて見てみると、地元出身の彫刻家、高橋剛氏の作品や、平田の石黒光二氏の彫刻の散歩道、富樫実氏の「空にかけの階段」シリーズなど、作者をめぐり歩く楽しみもある。一方で刈屋梨や庄

内柿、白鳥やこけしなど、造形にしてまで推したい地域のさまざまなが見えるのも面白い。夏が近づくと海岸線を走っている。庄内の人と「湯野浜の像の前で」と待ち合わせた像、どっちに行くのだろう。